

インドネシア・南タンゲラン市における 住民参加型の環境改善推進事業

〒930-1313
富山県富山市中滝142-9
E-mail: sb930jp@yahoo.co.jp
http://www.baliwind.com/



ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発



環境リーダーの実践活動

冊子「環境学習推進本」 製作と配布数	1,000冊
子どもグリーンキャンプの 参加人数	200人
今年度計画の達成度	91%
活動の全体目標に対する達成度	95%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

次世代を担う環境リーダー研修のための多額の費用負担につき、地域行政の同意を得るためのやり取りに苦労した。

■ 工夫した点

行政と事業を協働で実施し、相互理解を進めた。そのため、地域からプロジェクトの信頼が高まり、多くの市民と協力関係を築くように工夫し、大手企業からの支援につながった。

課題

市民の多くは、廃棄するゴミを外や川などに投棄することで「処理」しているが、地域としての対策はほとんど行われていない。

目標

南タンゲラン市において、地域住民が自らゴミなど環境問題に取り組む地域になる。

活動内容と成果

●環境イベントを開催し、市長を含む1,200名が参加。●環境推進リーダー育成研修2回実施し、延べ150名が参加。●清掃活動(清潔な金曜日)の毎週実施を、市内全300小学校に導入。●子どもグリーンキャンプを開催し総勢200名が参加。●冊子「環境学習推進本」を1,000冊製作し、配布。●地域に適した河川エコツーリズムモデルを3件考案、うち1件を上記研修で養成したリーダーが実践。このように、セミナーや研修に参加した人々がリーダーとなって活動を拡大している。

全助成期間の活動を振り返って

住民参加型の環境改善推進活動のポイントは、いかに持続させるかにある。良かれと考えるプログラムであっても地域行政の同意がない限り困難である。しかし、疑心暗鬼であったはずの行政側とも、協働して小さな成功事例を積み重ねることで強固な信頼関係を築き、プロジェクトに活かすことができた。最終年度には、大手財閥企業や食品企業などからCSRを活用した資金等の獲得もできるまでになった。



行政が認定した「環境リーダー」とい



H29年地球温暖化防止活動環境大臣賞受賞

今後の展望

プロジェクトを通して、環境マルチステークホルダー委員会：(MSC)を組み進めたことから、地域行政をサポート、さらに助言し得る環境を整えることができた。これを生かし、今後もMSCと協働でプログラムを進め、地域行政と市民の双方に、企画運営とファンドレイジングの能力等が身につけられるようサポートしていきたい。そのことにより、プロジェクト終了後も、必要・重要なプログラムの持続的発展が期待できると考える。